

2022 年度 自己点検・自己評価

日本語教育機関	茨城国際学院
自己点検・評価実施日	2023 年3月 31 日
実施責任者	校長 小齋 慎一郎

【評価】 A：達成されている B：ほぼ達成されている C：達成にむけて努力している D：達成されておらず、具体策を検討中

1. 教育の理念・目標とその具体化のための方策

① 茨城国際学院 教育理念

母国を離れて日本で留学生活を送っている学生に対して「守られているという基本的安心感」を与えつつ、世界中のどこでも通用する自立した人格主体を育成する。

② 教育目標とその具体化のための方策

学生自身が描く将来像を実現できるように、日本語能力を向上させ、同時に日本の文化や習慣を習熟させる。

教職員が一体となって、厳格な在籍管理・学習進捗状況の把握及びきめ細かな生活指導を、地道に積み重ねる。

2. 学校の運営

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| ① 日本語教育機関の告示基準に適合していることを年1回以上確認している。 | 【A】 |
| ② 運営の透明性が確保されている。 | 【A】 |
| ③ 運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されている。 | 【A】 |
| ④ 運営にあたり法令を遵守している。 | 【A】 |

3. 情報公開

- ① 機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。 【B】
- ② 募集及び納付金に関する情報を公開している。 【A】
- ③ 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。 【A】
- ④ 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかがわかりやすく示されている。 【B】
- ⑤ 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。 【B】

4. 入学者の募集と選考

- ① 適切な方法で入学者の募集を行っている。 【A】
- ② 適切な方法で入学者の選考が行われている。 【A】

5. 教育活動

- ① 教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。 【A】
- ② 教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。 【A】
- ③ 授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。 【A】

6. 教職員養成

- ① 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。 【A】
- ② 教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。 【A】

7. 学生支援

- ① 日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。【A】
- ② 進路指導を適切に行っている。【A】
- ③ 安全な留学生活を送るための適切な取り組みをしている。【A】
- ④ 入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。【A】

8. 施設・設備

- ① 語学学習に適した施設・設備である。【B】
- ② 学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている。【A】

9. 地域貢献・社会貢献

- ① 地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。【C】

10. 財務

- ① 日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である。【B】